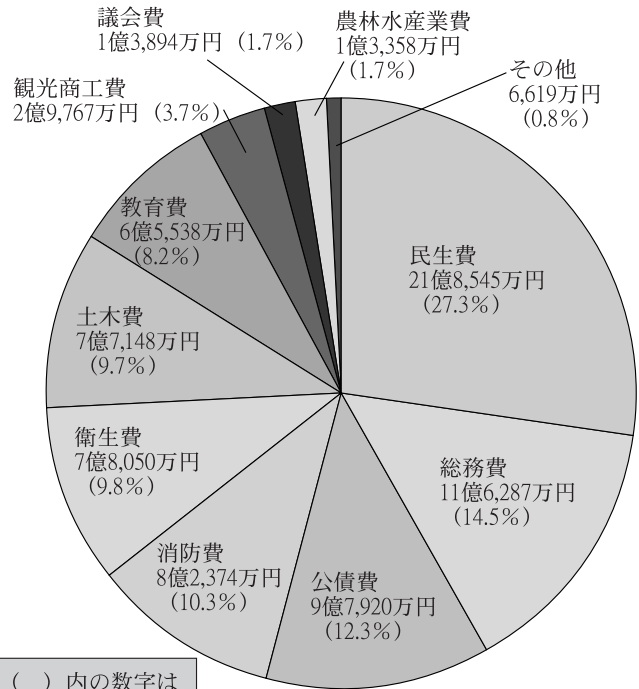


一般会計歳出の概要

■一般会計歳出の目的別構成

歳出を目的別にみると、主に増加したのは、子ども手当や障害者自立支援法関連事業といった民生費（前年度比15.7%増）、戸籍電算化システム導入、選挙執行経費、国勢調査経費などの総務費（前年度比6.0%増）、消防ポンプ自動車更新、防災行政無線のデジタル化などの消防費（前年度比12.3%増）、旧湯河原高校用地取得のための積み立てを行う教育費（前年度比18.1%増）、湯河原梅林の保護・育成や広域農道（小田原湯河原地区）整備費負担金などの農林水産業費（前年度比41.5%増）です。

一方、減少した主なものは公債費（前年度比5.9%減）です。これは、公的資金補償金免除繰上償還元金の減額や平成11年度の足湯建設事業など、過去の基盤整備のために借り入れた町債の償還が終了したことによるものです。また、平成22年度から独歩の湯に指定管理者制度を導入したことなどにより、観光商工費が12.0%減となっています。

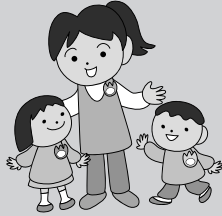


() 内の数字は構成割合です。

■主な事業・新規事業（☆は新規事業）

民生費（21億8,545万円）

- ・重度障がい者医療費助成事業
- ・障がい者自立支援給付等事業
- ・小児医療費助成事業
- ・子育て支援給付事業
- ☆保育園耐震化事業
- ☆子ども手当



土木費（7億7,148万円）

- ・地籍調査事業
- ・道路新設改良事業
- ☆公園遊具更新事業



総務費（11億6,287万円）

- ・選挙執行経費
- ☆戸籍電算化システム導入事業
- ☆国勢調査実施経費



教育費（6億5,538万円）

- ・スタディーサポート事業
- ☆小学校外国語活動事業
- ・放課後児童健全育成事業
- ・放課後子ども教室推進事業
- ☆郷土関係資料情報等整備推進事業
- ・湯河原温泉オレンジマラソン開催事業



消防費（8億2,374万円）

- ☆消防ポンプ自動車整備事業
- ・防災行政無線デジタル化事業
- ☆地域防災計画改定事業



観光商工費（2億9,767万円）

- ・観光宣伝対策事業
- ・観光行事（夏季行事開催事業など）
- ・独歩の湯運営事務経費
- ・商店街振興事業



衛生費（7億8,050万円）

- ・健康増進事業
- ・予防接種事業
- ・ごみ対策事業
- ・し尿等処理事業



農林水産業費（1億3,358万円）

- ・県営土地改良広域農道整備事業
- ・地域水源林整備事業
- ・幕山保安林地域整備事業

